

令和2年度第3回山形県総合政策審議会土地利用部会議事録概要

1 審議

(1) 山形県国土利用計画（第五次）・土地利用基本計画原案について

ア 資料1～資料4について事務局から説明が行われ、このことについて、委員から意見等はなかった。

イ 資料5について事務局から説明が行われ、このことについて、委員から意見等はなかった。

(2) 山形県土地利用基本計画における五地域区分の変更案について

資料6～資料10について事務局から説明が行われ、このことについて、委員から発言のあった主な意見等は次のとおり。

ア 整理番号1、2 川西農業地域の縮小

月田委員 整理番号1について、県道川西小国線に沿って、鉛筆工場や一般住宅が立ち並んでいる地域で十分宅地化が進んでいる地域のため、変更は問題ないかと思う。

整理番号2についても同様に、美女木タウンとして、平成8年頃から、川西町が分譲をしている地域なので、スーパーマーケットなどもあり、宅地が十分進んでいる地域であり、宅地化が完了しているため、変更は問題ないと思う。

大友委員 整理番号2の羽前小松駅周辺は何回か行った。ニュータウン側は見ることがなく、駅の西側の旧街道沿いを見たことがあるが、旧街道沿いはもともと市街地になっていて、今回、駅裏の開発によって農業地域を外すということがよく分かった。

整理番号1の二井町の方も、旧街道沿いであるが、川西町の都市計画マスタープランを見て、今後も市街化が進んでいく地域ということが分かった。

事務局 補足だが、全体面積から田・畑を除いた面積の比率は、整理番号2の美女木地区が94%、整理番号1の二井町が64%で、市街化が進んでいる状況である。

部長 浸水想定区域で想定される浸水深はどの程度か。

事務局 整理番号1、2の両方とも、隣接する犬川の河川改修は完了しているものの、想定最大となる1,000年に1回程度発生する規模を超える降雨をもとに作成した浸水想定区域が含まれている。このため、各種情報媒体を利用した情報の迅速な受発信、自主防災組織との連携などソフト対策も含めた総合的な防災対策を実施することとしているところ。

浸水深については、県のHPで浸水想定区域図を公表しているが、それによると、二井町地区では最大0.5m～3m未満で、美女木地区では0.5m未満の区域がほとんどであり、一部が0.5m～3m未満の区域となっている。

部会長 近年は、立地適正化計画と都市計画マスタープランとセットで対策しているが、今後も防災など新たな対策などをしていくこととなると思う。

イ 整理番号3 鶴岡森林地域の縮小

大友委員 現況は岩石採取や資材置き場等となっているのか、これから造成するのか。

事務局 造成等は完了している。

大友委員 資料7の5ページの図面の該当部分に等高線があるが、現況は図面と異なり、平地になっているのか。

事務局 国土地理院の地形図が基となっているが、やはりタイムラグはあり、現況と異なる部分はあると思う。

大友委員 グーグルアースの空中写真を見ると、現況が変わっていることがよくわかる。資料をみて、このあたりの現況が変わっていることがよく分かった。

以上、山形県土地利用基本計画における五地域区分の変更案について、整理番号1～3の案件に対しては異議がなく、承認された。

以上